

報道機関に依頼する事項に○をつけてください

①実施する事業の紹介

②催事等の参加者募集

③催事等の当日取材

報道取材情報（駿東伊豆消防本部）

令和元年5月14日（火）発表

名称等	中学生を救命の担い手に！
実施日時	令和元年度中 ※各中学校の講習会実施日については下記参照
場 所	駿東伊豆消防本部第2方面(函南町、伊豆の国市、伊豆市)管内の中学校
担 当	田方中消防署 電話 0558-76-0119

1 内 容

駿東伊豆消防本部第2方面管内(函南町、伊豆の国市、伊豆市)の中学生に対して、応急手当の普及啓発のため普通救命講習等を実施します。

2 目的・理由

南海トラフ地震や、頻発する自然災害への備えとして、災害発生時に学校や家庭等、地域に残ることが予想され、救命の担い手として期待される中学生に、救命講習を受講してもらい、地域の一員としての役目を自覚してもらうとともに、「命の大切さ、尊さ」を学んでもらいます。

また、適切な救命処置を身に付けてもらうことで地域全体の救命率を向上させる事を目的とします。

3 経緯・経過

当本部第2方面(函南町、伊豆の国市、伊豆市)では、5か年で、管内の15歳～64歳の人口の20%（約13,000人）に救命講習を受講してもらうため、年間約2,600人を目標に応急手当の普及啓発を実施しています。

なかでも、災害時に救命の担い手として期待される中学生に、在学中に必ず1回の受講機会を作ってもらおうよう、管内全ての中学校(9校)に協力を得て、本年度から授業の一環として普通救命講習を実施することになりました。

※ 国の応急手当の普及啓発活動のあり方検討委員会報告書では、「米国における調査研究によると成人人口の20%の住民が心肺蘇生法の訓練を受けていれば、医療機関以外で心停止となった患者の死亡率を優位に減少させることができる。」と報告されています。

4 特徴

中学生に授業の一環として救命講習を受講してもらう事は、初めての試みです。現在、決定している講習は以下のとおりです。

- (1) 伊豆の国市立菰山中学校 1年生 152人
令和元年5月18日（土曜日）午前9時30分から午後0時30分まで
- (2) 伊豆の国市立長岡中学校 1年生 145人
令和元年5月29日（水曜日）午前8時30分から午前11時30分まで

- (3) 函南町立函南中学校 1年生 150人
令和元年6月3日(月曜日)終日(午前中3時間と午後3時間の2組)
- (4) 伊豆の国市立大仁中学校 1年生 119人
令和元年7月31日(水曜日)午前9時から正午まで
- (5) その他
その他の中学校(函南東、修善寺、中伊豆、天城、土肥)の日程は現在調整中